



## PE 制度に興味のある方および PE 保持者向け

日本プロフェッショナルエンジニア協会 (略称:日本 PE 協会)  
The Japan Society of Professional Engineers (JSPE)

## The Future Begins with Engineers and JSPE

### JSPE とは (JSPE の設立趣旨、歴史)

日本プロフェッショナルエンジニア協会(JSPE)は 1. 会員が専門技術を通じて国際的な工学基準の認識および理解をする 2. 会員が高度の倫理基準をもって公共の安全・健康・福祉・財産を守る活動を支援することを目的として米国 PE ライセンスを持つ国内エンジニアにより 2000 年 9 月に設立されました。2001 年 3 月には特定非営利活動 (NPO) 法人の認証を東京都より得ました。JSPE は日本で FE/PE 試験を実施する日本 PE・FE 試験協議会 (JPEC) と協力関係にある他、2001 年 9 月より米国プロフェッショナルエンジニア協会 (NSPE) と提携合意 (affiliation agreement) を結んで日米間の相互交流を行っています。JSPE は 2014 年 7 月現在約 370 名の会員で構成されています。そのうち約 160 名が PE 会員です。

### 米国プロフェッショナルエンジニア (PE) ライセンスとは (定義、歴史)

PE ライセンスは、一定の工学教育と工学実務経験を積み、規定の一次試験 (FE 試験 (7 分野))、二次試験 (PE 試験 (25 分野)) 及び州法や倫理などに関する各州独自の試験に合格した個人を米国各州政府に任命された PE ボードが認定・登録し、その個人にのみエンジニアリング業務を認めるという制度です。米国 PE 制度は 1907 年ワイオミング州より始まり、現在は全ての州で運用されています。PE 制度は試験が国際規格に対応していることや倫理基準が実務的であること等が国際的に認知され、米国に約 40 万人の PE がいるほか、日本、韓国を含む米国以外の国々にも多くの PE が存在します。(現在のところ、米国 PE ライセンスは日本での法的位置付けがなく、他の国内エンジニアライセンスとも相互認証はされていません。)

### 日本における PE ライセンス取得の概要

1994 年、国際的なサービス貿易促進と技術障壁除去の流れを受け、日本でも FE/ PE 試験が受験できるようになりました。現在日本国内の FE/ PE 試験は JPEC が実施しており、一定の条件を満たす国内エンジニアが受験できます\*。FE/PE 試験に合格すると、米国のいずれかの州 PE ボードに対し PE 登録を申請し州の書面審査及び各州独自の試験を通過すると PE ライセンスが得られます。(※ 日本での FE/PE 受験の詳細は JPEC ウェブサイト [www.jpec2002.org](http://www.jpec2002.org) を参照下さい。)

### PE ライセンス維持に必要な継続教育 (CPD) とは

取得した PE ライセンスは、一般に 2 年に一度更新手続きを行う必要があり、その際に 1 年あたり 15 時間以上の CPD (Continuous Professional Development) を積んでいることの書面申告を求められます\*。CPD は自立したエンジニアとしての専門的能力を向上すると認められる教育受講や発明、著作などであるとされ、職業業務そのものは認められません。

(※ 州によりライセンス更新時に要求する CPD 時間数、CPD 認定基準が異なります。)

### JSPE の CPD セミナー

JSPE では PE の継続教育 (CPD) に認定される次のセミナーを開催しています。セミナーの開催予定は [www.jspe.org](http://www.jspe.org) にあるイベントカレンダーを参照下さい。

#### ● 技術 CPD セミナー/エンジニアズサロン

時宜に応じた技術トピック等を取り上げたセミナーを定期的で開催しています。PE の維持に必要な PDH (Professional Development Hour) を供給する他、これから PE を取得しようとする人が PE 保持者と技術的に交流する機会を提供します。エンジニアズサロンは平日夜に JSPE 事務所で開催する、少人数ディスカッションで JSPE 会員が提供する耳寄りトピックを題材に会員間の技術

交流を深めます。(※ NCEES が公表する CPC Guideline を意識したセミナーです。国内の工学 CPD 基準等には必ずしも準拠していません。)

### ● プロジェクトマネジメントセミナー (PE に PMP “鬼金” セミナー)

エンジニアが実務をこなしていく上で欠かせないプロジェクトマネジメントの要点を JSPE 会員講師が親身に解説するセミナーを 2001 年以来定期的に開催しています。JSPE は米国 PMI (Project Management Institute) の登録教育業者となっており、PMI が認定する PMP (Project Management Professional) 資格の取得も奨励しています。

## JSPE の刊行物

会員には米国 PE 制度の動向などを掲載した JSPE マガジンを年 4 回発行する他、「日本人のための PE ハンドブック」を進呈しています。またウェブサイトを通じて米国 PE 制度の動向、NSPE 倫理規定和訳などを一般に公開しています。

## JSPE のアウトリーチ活動

JSPE では CPD セミナー開催、刊行物発行だけでなく、次のような活動も行っています。これらの活動に参加することで、通常の業務とは異なる分野での人脈や情報を得ることができ、エンジニアとしてのキャリアアップにつながります。

### ● PE 制度の普及定着活動

PE ライセンスを取得しようとする会員および非会員に、受験・登録の手続きや体験談を紹介し、各種相談に応じるセミナーを定期的に開催しています\*。また倫理基準を解説するセミナー、NCEES 学歴評価支援サービスも随時提供しています。(※ 受験勉強そのものを指導するセミナーは現時点で提供していません。)

### ● 対外交流

国内エンジニアのより一層の国際化や PE 制度の普及定着を図るための取り組みとして、NSPE との日米間交流を行う他、国内外の諸関係団体との情報交換等を随時行っています。

### ● 会員間の交流

各種セミナーに加えて、イヤーエンドパーティ等の懇親会を開催し、会員および非会員の交流と情報交換の機会を提供しています。



2017 年 6 月 JSPE 総会での写真

## JSPE 入会案内

JSPE の会員になって頂くと、CPD セミナーに会員価格で参加できる、会員限定の刊行物を入手できる、PE 保持者との交流を通じて PE ライセンス 取得への道が開けるなど様々なメリットが得られます。会員には次に示す 6 種類の区分があり、[www.jspe.org](http://www.jspe.org) からオンラインで入会申込が行えます。なお、初年度会費は入会月により変わります。入会申請後、会員部会よりお振込みいただく金額をご連絡しますので、それまでお振込みはお待ちください。

会員区分	条件	年会費
1. PE 会員 (正会員):	米国のいずれかの州で PE 登録をしている人	12,000 円
2. 準 PE 会員:	PE 試験に合格している人	9,000 円
3. FE 会員:	FE 試験に合格している人	9,000 円
4. 一般会員:	これから FE 試験を受験しようとする社会人	6,000 円
5. 学生会員:	これから FE 試験を受験しようとする大学生/大学院生	無料
6. 賛助会員:	当会の活動趣旨に賛同する個人または団体	別途

➤ 入会金は 3,000 円です。ただし、学生会員と賛助会員は入会金免除。

## お問合せ窓口

JSPE への各種問合せは次へお寄せ下さい。

事務所: 〒107-0052 東京都 港区 赤坂 2-10-17 石原ビル 2F

最寄駅: 東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅

代表者: 川村武也 (携帯 070-5654-0611: 電話にすぐ出られない場合があるので、Eメールにご一報ください。)

Eメール: [webmaster@jspe.org](mailto:webmaster@jspe.org)